愛ありて

142
2020.11.9

川崎医福大ニュース

企画特集

感染防止に向けた各学科の対応…P6

- 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて…P2
- 研究室訪問／作業療法学科…P4
- 私たちの部・サークル紹介…P7
- 新型コロナウイルスによる就職活動対応…P8
- 就職活動コーナー…P9
- キャンパスインフォメーション…P10

かわらぬ思い、このさきも

50th Anniversary
Kawasaki Gakuen
since1970

川崎医療福祉大学　広報編集委員会

新型コロナウイルス感染症拡大を受けて

教務関係の動きについて

このたびの新型コロナウイルス感染症拡大を受けた大学の方針に対して、保護者の皆様、学生の皆さんは、不安に思い、戸惑われることも多かったと思います。大学としての今までの態勢と経緯、今後の対応方針を中心に、本学の講義・実習の運営をしている教務部から報告をさせていただきます。

令和元年度　2月～3月

2月頃より、日本でも新型コロナウイルス感染症のニュースが流れはじめ、急速に拡大していきました。準備が進んでいた卒業式と謝恩会は中止となり、学生の構内立ち入りは制限されました。3月末に実施している在学生ガイダンスについては、多くの重要な内容を学生に伝える必要があるという判断から、「3密」を避けるために学年を分け短時間で行うなど工夫をしながら実施しました。構内には感染症対策を伝える張り紙をし、ラウンジを閉鎖、全ての授業で両隣の椅子を空けて着席できるように教室を調整するなど、その時点でできる限りの準備を行いました。

令和2年度　4月

全学的な入学式は中止となりましたが、新入生に最低限の説明や手続きをすることが必要という判断のもと、学科単位での新入生オリエンテーションは実施しました。新入生には大学の仕組み、履修登録等の説明を直接行いました。全国的にほとんどの大学が授業開始の延期を表明していましたが、本学では「授業開始について（大学の考え方）」の学長声明を受け、授業開始時間を1時間繰り下げ、在学生・新入生ともに予定通り4月6日から対面での授業を開始しました。結果的に、全国の大学で問題となった「同級生に会えていない」「大学に通学したことがない」などの状況を避けることができ、新入生の不安を少しは解消できたのではないかと考えています。

遠隔授業に関する研修会

しかし、4月7日には7都道府県に緊急事態宣言が発令され、岡山県知事の見解を受けて緊急事態宣言発令の都道府県からは通学しないよう学生に要請しました。対面授業を継続しながらも全学的に遠隔授業の実施を検討し、新型コロナウイルス感染症管理基準による報告書が提出された場合には公認欠席とすることも決定しました。4月16日に緊急事態宣言の区域が日本全国へと拡大し、4月17日の「緊急事態宣言を踏まえた本学の対応」の学長声明を受け、4月20日から全ての授業を遠隔授業とする決定をし、準備ができるまでは休講期間としました。受入れ中止となった学外施設での実習に関しては、国の通知を踏まえ、学内での代替実習を計画することになりました。専門職を養成する本学にとって、対面授業でないと困難な学内での演習や実習だけでなく、学外の臨床現場での実習の機会を学生に提供できないことは苦渋の決断でした。この時点で全国の90%近い大学が授業開始自体を延期していました。遠隔授業は、ライブ配信方式と録画をインターネット上で見るVOD（ビデオ・オン・デマンド）方式の2通りの方法で原則実施することとし、休講期間中に学内で全学的な会議や研修会を何度も実施しました。全ての教員が遠隔授業に向けての準備を進めましたが、可能な限り早急に授業を再開させることを優先したため、全学的なサポート体制が十分に整わない状況での準備となり、教員個人の負担は膨大なものとなりました。

文責：教務部　武井 祐子（教務部長）、池田 和晃（教務課長）
宮川　健（教学担当副学長）

令和２年度　５月

感染対策をした実技科目

連休明けから、ほとんどの科目が遠隔授業で授業を再開し、岡山県を含む39県で緊急事態宣言が解除されたことにあわせて、本学も５月16日の「緊急事態宣言解除を受けて」の学長声明を受け、県をまたいでの通学、および５月21日には緊急事態宣言発令の県からも通学を可能としました。５月14日からはインターネット環境が整っていない学生などに大学のパソコン室を開放しました。全国的に60％以上の大学は遠隔授業のみを実施していましたが、本学は遠隔授業を実施しながら５月25日より、構内に滞在している学生数が1,000人以内（通常の20％～30％）になるように制限をして、実習や実験など遠隔授業での実施が困難で春学期に単位修得が必要な科目から対面授業を再開しつつ、開講が延期できる科目は引き続き休講とし、クラスター発生などによる大学閉鎖を防ぐことに注力しました。あわせて、学内では授業研究カンファレンスなど、教員が相互に遠隔授業についての研修ができる機会を設け、遠隔授業の質の向上に努めました。

令和２年度　６月～８月

春学期の授業評価方法を見直すとともに、対面での定期試験実施を決定し、６月８日からは、いくつかの条件や基準を設けながらも、学外施設での学外実習を再開しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況をみながら検討を重ねていた秋学期の授業実施方針を決定しました。７月20日に倉敷市が女性１人の新型コロナウイルスの感染を発表しましたが、７月22日の学長声明を受け、学内の教育活動は感染拡大防止対策をより徹底した上で継続すること、学外実習については実習先の指示に従い継続すること、学生には改めて学内行動ルールを遵守するよう促すことを確認しました。８月15日に春学期授業が終了し、８月17日から８月21日は専門科目、８月24日から８月28日は基礎教育科目の定期試験が実施されました。また、この期間には授業の補講や秋学期の実習に向けての事前指導なども学内で実施されました。

令和２年度　９月～10月

秋学期ガイダンス

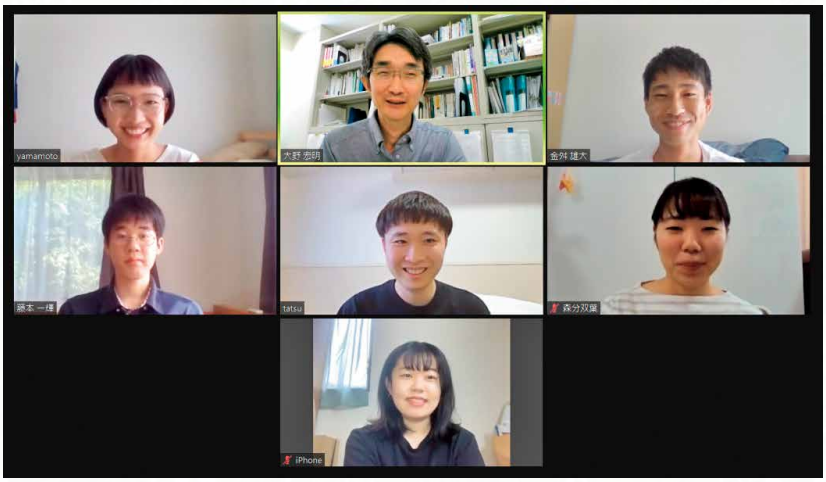
夏休み期間に入り、授業再開を延期した科目や集中講義、実習指導などが実施されました。また、８月21日の学長声明を受け、秋学期も引き続き授業開始時間は１時間繰り下げました。講義科目は遠隔授業（一部の科目は十分な感染防止対策をした上で対面授業）で実施、演習や実習科目は、原則、対面授業で実施する方針で、各学科で教育効果を考えて秋学期の科目開講を調整しました。

教職員ひとりひとりがこの緊急事態を乗り越えようと努力したことで春学期を終え、秋学期のスタートを切ることができました。現在、来年度の授業実施方針が決まり、時間割編成もスタートしています。「コロナのために教育は止めない」という学長の指示のもと、これからも大学全体で取り組んでいきますので、引き続き、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

大野ゼミ

コロナ禍のゼミについて思うこと

今年は新型コロナウイルスの広がりにより、4月途中から大学の講義は全て遠隔授業に舵（かじ）がきられ、不安と戸惑いの中で3年生のゼミもZoomによるオンラインで行うことになりました。大学の講義はVOD形式のため一方通行の虚しさを感じますが、ゼミは、オンラインであっても顔を突き合わせた学生とのやり取りは、私自身もホッとする時間となっていました。この時期、特に気になることは学生の体調です。コロナ禍において、引きこもらざるを得ない生活は、学生に大きなストレスと不安、やり場のない怒りや不満をもたらします。全国の大学生を対象にしたアンケート（全国大学生活協同組合連合会）でも、やる気が起きない、目の疲れ、ストレスを感じる、だるさ、が体調の変化の上位を占めていたそうです。ゼミ生からも、「いつになったら対面講義が始まりますか？」「実習はどうなるんですか？」「バイトがなくなりました。お金が…」などと不安の声が聞かれていました。こう考えると、週1回、ゼミ仲間と顔を突き合わせる機会は、研究について話し合うだけでなく、合間に交わされる近況や雑談、愚痴が、お互いの心を解しあえる場になっていたように思います。私も、日ごろから少しでも和やかで本音を語り合えるやり取りができる雰囲気を心がけていますが、息の詰まるコロナの時期だからこそ、ゼミがホッとする場になればと心がけています。ただ、この時期どうしてもできないことは、ゼミの懇親会です。早く、みんなでお酒を酌み交わしながら、くだらないことを言い合い、笑い合える日常が再び訪れる日を願うばかりです。



プロフィール

作業療法学科　准教授　大野（おおの）　宏明（ひろあき）

高知県高知市出身です。幼少期は、近所の田んぼを駆け回るなど自然の中で育ちました。川崎リハビリテーション学院を卒業後は、作業療法士として福岡県の精神科病院に就職しました。今年で26年目です。現在は、大学と附属病院心療科を兼務し忙しく行き来しています。昔も今も、駆け回るのが性分なようです。

◆学位・資格：博士（リハビリテーション学）、精神科作業療法士

4年生　ゼミについて

◆先生は、仏のように優しい先生です。卒業研究をはじめ、実習のことや就職のことなど何でも親身になって聞いてくださったり、時にはユーモアのある発言をして場を和ませてくださったりと、とても頼りになる先生です。（真鍋 圭）

◆先生は、学生思いのとても優しい先生です。進路相談や勉強で困ったことなど、なんでも親身に聞いて、アドバイスをくださいます。私も精神科の作業療法士を目指しているので「この人にならなんでも話せる」と思わせるような先生の姿を目標にしています。（佐々木 陸）

◆先生は普段から優しく、またとても話しやすく、親しみの持てる先生です。卒業研究に関して、色々とサポートしてくださるだけではなく、普段の出来事や悩みなども親身に聞いてくださいます。身構えず接することができるので、これからもいろいろと相談させていただこうと思っています。（藏薗 聖奈）

◆4年生は個性豊かなメンバーが多く、ゼミ活動は面白いです。毎週集まり、調べたことを発表しますが、気が付くと話が脱線していることがあります。私は思うように研究が進みませんでしたが、先生に多くの助言をいただき無事に研究を終えることができました。（桒田 弥生）

◆ゼミ活動では、先生が話し合いをしやすい雰囲気を作ってくださり、とても気楽に楽しく活動を行うことができます。先生の声は心地よすぎて眠気を誘いますが、その分、学生が騒がしいのでとても良いバランスを保っています。時には真剣な個人指導もしてくださり、叱咤激励とともにしっかり向き合ってくださることで頑張ることができます。（銭瓶 陽奈）

3年生　遠隔ゼミついて

◆今年は、新型コロナウイルスの影響により、ゼミがZoomで行われることになり、どのように研究を進めていけばいいのか不安はありましたが、研究で行き詰ったところも1つずつ分かりやすく説明し、参考となる資料を紹介してくださったりと、とても親身なゼミです。（藤本 一輝）

◆コロナ禍の中で、ゼミをオンラインで行うことは初めてだったので最初は戸惑いがありました。自分や他の人が画面にどう映るのか、声はうまく聞こえるのかなど不安なことが多くありましたが、実際にやってみると、みんなの顔が見られて、会話の面でも問題なくコミュニケーションが取れたので、対面で行う場合と大きな差は感じられませんでした。（森分 双葉）

◆遠隔でのゼミは、画面越しにゼミのメンバーと顔を合わせ話しかけるので、若干の恥ずかしさはあるものの、画面共有を活用することでスムーズに情報の共有ができることが利点だと思います。今では違和感なくゼミを行うことができています。（金舛 雄大）

◆遠隔でのゼミは、最初はうまくいくか不安でしたが、決められた時間にみんなで集まって、対面で行うのと同じ感覚で行うことができたと思います。また先生が画面を共有して研究方法を説明してくださったり、分からないことはチャットでアドバイスをくださったりと研究をスムーズに進めることができました。（池田 唯花）

Q&A

学生から先生への質問

Q1　なぜ精神科作業療法士を目指そうと思ったのですか？

◆一番は、長期実習での患者さんとの出会いです。私は附属病院の心療科で実習を行いましたが、担当患者さんとの関係性の変化や精神症状に苦しむつらさに寄り添う貴重な経験をしました。正直、その時は何もできなかったのですが、腕を磨いて、「精神を病むほどつらい思いをしている患者さんのお役にたてるようになりたい」という思いが精神科を目指した動機です。

Q2　休日は何をして過ごしているのですか？

◆以前、九州にいた時はよく温泉巡りをしていました。大分の湯布院や熊本の黒川温泉は宿ごとに特色のある温泉が湧いているのでお勧めです。今年はどこにも行けませんので、家庭菜園や庭いじりをしていて、例年になく庭が手入れされています。

企画特集　感染防止に向けた各学科の対応

子ども医療福祉学科

◎コロナ禍における実習について

子ども医療福祉学科では保育所実習（2年次）と精神保健福祉実習（4年次）の時期が6月と早く、今年度は学内実習となりました。学内では感染症対策を行いながら、模擬保育や事例を通した実習活動をこなしました。精神保健福祉実習では、医療現場で働く精神保健福祉士とウェブでつながり、直接話を聴き、熱心に質疑応答を実施しました。保育所実習では、密にならない体育館での模擬保育など、実践的な実習を行いました。現場実習ができた幼稚園教育実習では、遠隔地で実習を行う学生にウェブ会議ツールによる面談を実施し、学生への指導・助言を行いました。実習での ICTを用いた学生支援は、岡山県『保育士養成施設連携強化事業』の一環としても実施しております。

（子ども医療福祉学科　重松（しげまつ） 孝治（こうじ））

精神保健福祉実習の様子（学外との接続）

幼稚園教育実習での
Zoomを用いた面談の実施

保育所実習の様子（模擬保育）

園での指導の様子も遠隔で参観

理学療法学科

◎臨床実習におけるコロナ対応

理学療法学科の臨床実習では新型コロナウイルスの影響で、実習機会の減少が問題となります。そこで3年生にはビデオにて附属病院の理学療法実施時の見学を行わせ考察させる独自の映像講義を実施しています。また実技の説明は遠隔講義ですが、練習は少人数で登校し、各班に対し教員が一名付き手厚い実技指導を行い、客観的臨床能力試験を実施しています。4年生には代替実習としてペーパーペイシェント（模擬患者）を準備し、理学療法評価からプログラム立案まで臨床思考過程の演習を行い、最終的に教員が患者さんを想定した実技指導をしています。実技指導の際には換気、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保に努めています。とくにコロナ対策のために購入した大型扇風機が活躍しています。

（理学療法学科　木村（きむら） 大輔（だいすけ））

医療情報学科

◎遠隔授業について

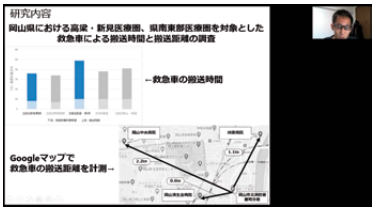
医療情報学科では写真のような LMS（学習管理システム）を以前より独自構築しています。これまでも講義で活用していましたので、学生のみなさんはここを玄関口に各講義のコースに進み、ライブやオンデマンド形式の遠隔講義を受講します。

もう一枚の写真は医療情報学研究法を遠隔講義したワンシーンです。秋学期からのゼミ配属にむけ、4年次の先輩たちが研究内容やゼミの様子などをあれこれと3年次生にレクチャーし、チャットでの質問にも回答してもらいました。

秋学期もまだ一部講義では遠隔講義が実施されていますが、学生の皆さんの学習機会損失とならないよう、医療情報学科でも今後も様々な工夫を凝らしながら積極的に ICTを活用し、遠隔講義にも対応していきたいと考えています。

（医療情報学科　谷川（たにがわ） 智宏（ともひろ））

LMS（学習管理システム）



遠隔講義

「コロナのために教育は止めない」という方針のもと、各学科は工夫して教育活動を行っています。ここでは４学科の取り組みをご紹介します。

医療福祉デザイン学科

◎コロナ禍における医療福祉デザイン学科の授業

医療福祉デザイン学科の授業ではものづくりを行いますので、対面でのやり取りが欠かせませんが、今回のコロナ禍により遠隔授業で実施せざるを得ませんでした。対面授業の規制が一部緩和されても、密になるのを避けるため、大学に来る人数に制限を設けました。

写真1

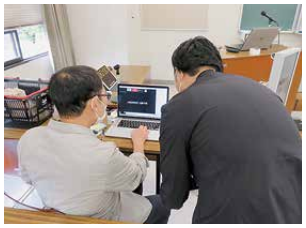


写真2

そのため、例年に比べて作業時間に制約がありましたが、集中して作業することで、なんとかプレゼンテーションまでこぎつけることができました（写真1）。マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、窓の開放など、基本的な対策を徹底しています。プレゼンテーションではマスク越しに遠くの相手に伝えるため、いつもより発声を意識するという思いがけない副産物もありました。また、例年は全学年がひとつの教室に集まる卒業制作の経過発表会は、ウェブ会議ツールを取り入れることで開催しました（写真2）。実施形態は異なりましたが、活発な意見交換は例年通りでした。

（医療福祉デザイン学科　合田（ごうだ） 喜賢（よしかた））

私たちの部・サークル紹介

入部はいつでも大歓迎!

本誌マスコットキャラクター「かわふぐー」

サッカーサークル「DOOBY」

臨床工学科　3年　島村（しまむら） 駿佑（しゅんすけ）

こんにちは。川崎医療福祉大学サッカーサークル「DOOBY」です。現在は部員30名ほどで楽しく活動しています。

普段は週に１回のミニゲームを主な活動としていて、サークルならではのゆるく楽しく自由な雰囲気で活動をしています。今年は開催中止となってしまいましたが、4月には新入生歓迎会、10月には学園祭での模擬店出店、12月にはフットサル大会への参加、2月には卒業生の追い出しコンパなど多くのイベントを企画し、参加することでチームワークを磨いています。

部員の半数ほどがサッカー初心者なのでどなたでも気軽にご参加いただけます。ぜひ参加してください。

茶道部「大和」

臨床栄養学科　2年　竹内（たけうち） 郁乃（かの）

こんにちは。川崎医療福祉大学茶道部「大和」です。毎週月曜日活動を行っています。今年は残念ながら中止となりましたが、福文祭や学園祭への参加、七夕茶会の開催なども行っております。

落ち着いた和室でのお稽古、向上心にあふれるすてきな先生、背筋が伸び元気が出ます。お免状の取得も可能で、目標にもなります。お稽古ではやさしく丁寧に教えていただけるので、失敗しても大丈夫！皆同じです。少しでも茶道に興味があれば心配せず挑戦してみてほしいと思います。10月に入り新入部員を迎えることもできました。本当にうれしいです。茶道部は温かい人ばかりで、私たちは日々新たな出会いと学びに感謝しています。「日本文化に触れマナーを学べる」、「心を込めお茶をたてる」、とてもすてきな時間が共有できます。未経験の方も大歓迎です。他のクラブと掛け持ちをしている人も多いので、気軽に茶道部の見学に来ていただけるとうれしいです。

新型コロナウイルスによる就職活動対応

就職支援センターの感染防止対策

新型コロナウイルス感染症対策として、就職支援センター主催で実施していたガイダンス、キャリア講演会、就職対策講座などができなくなりました。そのため、個別面談で学生に対応しています。面談はメールによる予約制にし、資料等の閲覧も「３密」を避けるため１時間に５名までの予約制にしています。個別面談では、学生からエントリーシート・履歴書の添削、小論文指導、面接練習等多くの依頼があり、４名のキャリアカウンセラーが１週間先まで予約でいっぱいの状況です。

一般企業、特に都市部の企業ではウェブ面接を使っている事業所が多くなっていますが、地方の医療・福祉関係ではウェブ面接はあまり活用されていません。交通費などコストの削減、スケジュール調整がしやすいなどメリットもありますが、事業所にとっては評価が難しく、学生にとっては事業所の雰囲気が分からない、面接の手応えが分からないなどデメリットもあります。また、事業所見学や説明会に参加ができないまま進路先を決めることにより、内定後に不安になる学生もおり、焦らず慎重に進路先を決めなければなりません。今後もウェブを活用した就職活動は続きますので、学生も大学側もそれに対応していく必要があります。

就職活動コーナー

就職が内定している4年生の方々に、
就職活動についてお聞きしました。

質問項目	診療放射線技術学科 阿部（あべ） 亮太（りょうた）	臨床栄養学科 木下（きのした） 伽菜（かな）	医療福祉経営学科 吉和（よしわ） 碧大（あお）
内定が出て、就職することを決めた業種・地域・職種を教えてください。	愛媛県職員 愛媛県 診療放射線技師	病院 岡山県（倉敷市） 管理栄養士	国立病院機構の総合職。地域としては中国・四国地方です。
その業種・職種を選んだ理由を教えてください。 どのような自己分析をして、その業種・職種を選んだのですか。	救命救急センターを併設するなど地域の総合病院として多くの医用画像診断装置を有しており、最先端の医療に触れることができることが一番の決め手です。	小さい頃から手先が器用であったことを生かし、自分の作ったもので人を笑顔にできる仕事に就きたいと思いました。臨地実習の際に患者さんと関わる楽しさを感じたため、病院の管理栄養士を選びました。	講義を通して医療経営に興味を持ち、特に病院実習で自分の進路が明確になりました。 また、仕事を通して地域医療に貢献できればと考え、病院の総合職を選びました。
活動のタイムスケジュールを教えてください。	5月下旬　履歴書作成 　　面接練習 6月中旬　採用試験 7月中旬　内定	3月　企業説明会 5月　企業の選考試験 7月　病院見学 8月　面接練習 　　選考試験対策 　　病院選考試験	3月に説明会へ参加し、その後は新型コロナウイルス感染症の影響でかなりスケジュールが変更となりました。最終的には、5月にエントリーシート、6月に適性検査、8月に最終面接となりました。
活動中で特につらかったときはどんなときでしたか。 また、それをどのように乗り越えてきましたか。	履歴書作成や面接練習です。その病院の採用試験を受けようと決め、就職活動を開始した時期が遅かったため、履歴書作成や面接練習の時間的余裕がなかったからです。そのため、スケジュールを立て、計画的に取り組むようにしていました。	「自分の行きたい所の募集はでるのか」「もし不採用だったら」などと考えてしまった際に、つらいと感じました。そのようなとき私は、先のことを考える事をやめて、今できることをやるようにしました。	つらかったことは面接対策でした。その理由は、大学4年間の知識・経験の棚卸しが不十分だったからです。しかし、そうした知識、経験を整理することで、どのような質問にも答えることができるという自信がつきました。
就職活動に向けてどのような準備をしましたか。 また実際、特に役に立ったことは何ですか。	履歴書作成、面接対策として、受験先の病院について調べ、その病院の特徴や、他の病院との違い等をまとめることで、面接時に質問されたときに詳細に答えられるようにしました。	就職支援センターで試験の傾向を知り、問題に慣れるようにしました。また、病院見学に行き、その施設の特徴を自分で確認しました。特に役に立ったものは、先輩方が残してくださった受験報告書です。	就職活動で役立ったことは、医業経営コンサルタントの資格へのチャレンジでした。この資格で、医療経営に関する知識を得ることができました。その他にも、他の就活生との差別化ができたと感じました。
後輩の役に立つような情報やこれから就職活動をする後輩の学生さんへのメッセージをお願いします。	面接試験対策として、面接官からの質問内容とそれに対する応答をできるだけ考えておくことと、自分が受験する病院について十分に調べておくといいと思います。	就活の武器は今までの自分の人生です。今までの自分のストーリーを紙に書き出してみてください。すると「なぜそこに行きたいか」「強み・弱みはなにか」などが分かってくるはずです。ぜひ自分らしく前向きに頑張ってください。	多くの先生方からのアドバイスや協力があったからこそ、内定をいただくことができたと思っています。思い悩んだら、先生方に相談してみてください。結果につながるアドバイスをいただけると思います。

FD・SD研修会（ハラスメント防止に向けての研修会）

例年ハラスメント防止を目的とし、全教職員を対象にFD・SD研修会（ハラスメント防止に向けての研修会）を開催しておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、9月1日（火）からweb視聴にて研修会を実施いたしました。内容については、以下のとおりです。

- **「ハラスメント防止啓発活動に関する学生アンケート調査結果について」**

健康体育学科　石本（いしもと）　恭子（やすこ）准教授（ハラスメント防止委員会委員）

- **「本学におけるハラスメント相談の実際と相談員の工夫」**

子ども医療福祉学科　稲田（いなだ）　正文（まさふみ）特任教授（ハラスメント相談員）

石本准教授から、ハラスメント防止啓発活動は学生生活に役立っているか、ハラスメント相談員への連絡方法は知っているか等について、全学科最高学年（昨年度）を対象とした調査結果が、グラフ形式で報告されました。その後、稲田特任教授から、近年どのような形でハラスメント相談が行われているのかを、「相談のはじまり」から「相談者の訴えについて事実確認」するまでの流れを、本学で配布している「ハラスメント防止マニュアル」に基づき紹介されました。

視聴後のアンケートでは、「アンケート結果から、学生の実態を理解することができました。」「相談員は、現状を裁く人ではなく、一教員として働きかける、という現状が分かりました。」「ハラスメント相談の流れを知っておくことは、学生から相談を受けた際、非常に役立ちます。」などの意見が寄せられるなど、非常に有意義な研修会となりました。

今後もハラスメント防止への意識を継続するために、定期的に研修会を開催していきたいと思います。

令和2年度協助会総会（書面による採決）及び第1回役員会

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入学式が開催されず、それに伴って協助会総会も中止となりました。そのため、6月に全会員に総会資料が送付され、はがきによる議案の採決となりました。送付数4,458通のうち、1,968通（無効1通）の回答があり、①「令和元年度協助会事業報告及び決算について」（賛成1,965、反対2）、②「令和2年度協助会役員の選任について」（賛成1,966、反対1）、③「令和2年度協助会事業計画（案）及び事業計画（案）について」（賛成1,965、反対2）という結果となりました。無回答や賛否の記述がない場合、会長一任と示されており、その結果、全ての議案が承認となりました。また、複数あった意見・質問に対して次のような回答がありました。

質問1「コロナ対策に伴い授業料等の減額はないのですか。」

回答1「大学の学費等は、学士号の授与に必要な4年間の教育に対して総額で設定されていること、教育課程や資格取得等に不足が生じないよう対応していることなどにより、授業料の減免等には対応しておりません。ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。」

質問2「学科によって就職状況や国家試験合格率が示されていないのはなぜですか。」

回答2「子ども医療福祉学科、臨床検査学科、診療放射線技術学科の新設学科については、今年度初めて4年次生が在籍していますので、次年度には結果をご報告できます。」

質問3「学生支援特別会計の緊急的費用等とはどのような内容ですか。」

回答3「平成30年7月豪雨災害時の被災学生支援、今年度の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための遠隔授業に伴う学生負担への支援などに予算を執行しております。」

9月5日（土）に第1回協助会役員会が開催されました。感染対策に配慮して行われた会議では、足立会長、椿原学長の挨拶の後、会則の改訂についての審議、今年度の予算執行状況の説明、抗体検査の実施状況や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う授業の状況、昨年度の進路状況や今年度の求人状況など学生生活全般についての報告がありました。学生の様々な活動が制限され、協助会としての学生支援も予定通り進まない状況にあり、予算執行においては柔軟な対応が必要になるとの説明がありました。

オープンキャンパス2020

感染症予防対策を講じての実施

今年度のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していました6月、7月のオープンキャンパスは中止となりました。高校生に情報発信がなかなかできない中、6月からはWEBオープンキャンパスサイトを新たに立ち上げ、インターネットを通して、大学の魅力を発信いたしました。内容は、学長挨拶から始まり入試説明、学科紹介、在学生からの声、ミニ講義、施設紹介と、来場型オープンキャンパスにも引けをとらない内容となりました。また、今年度入試制度が変わったこともあり、入試説明の視聴回数は入試日程が近づくにつれ、ぐんぐん増えていきました。さらに、限られた学科にはなりますが、Web面談を始め、対面式が難しい状況下で、良い広報を行うことができました。

そして、遅ればせながら今年度初の来場型オープンキャンパスが、8月23日(日)(医福大単独)、2回目を9月22日(火祝)(医療短大との2校合同)に規模を縮小して、午前午後の2部構成で開催されました。当日、会場入口には、検温コーナーを設け、非接触体温計を使って来場者の体温測定を行い、教室は十分な換気、スタッフは全員マスクを着用することで、感染予防を徹底しました。イベント内容は、学科による「ミニ講義・体験学習」、「入試・編入学相談コーナー」と従来のオープンキャンパスと比べると少ないですが、今年の数少ない機会に一生懸命説明を聞く高校生が印象的でした。2日間で2,000名近い高校生、保護者に来場いただきました。

2021年度入試の受験生を対象とした来場型オープンキャンパスは、これで終了となりますが、WEBオープンキャンパスサイトは随時更新していきます。次回の来場型オープンキャンパス開催予定の3月は、2022年度入試を目指す高校2年生以降の皆さんが中心となります。本学に興味をお持ちの皆さん、是非ご参加ください。

キャンパスインフォメーション

大学行事

11月14日　学校推薦型選抜（専願）
11月19日　学部）秋学期代替授業日（月曜日分）
　　大学院）秋学期代替授業日（月曜日分）
12月10日　学部）秋学期代替授業日（月曜日分）
　　大学院）秋学期代替授業日（月曜日分）
12月13日　学校推薦型選抜（併願）A日程
12月14日　学校推薦型選抜（併願）B日程
12月25日　学部）冬季休業（～1/4）
　　大学院）冬季休業（～1/4）
12月29日　年末年始休暇（～1/3）
1月5日　学部）授業開始
　　大学院）授業開始
1月6日　学部）秋学期代替授業日（月曜日分）
　　大学院）秋学期代替授業日（月曜日分）
1月29日　学部）秋学期授業終了
2月1日　一般選抜前期 A日程
2月2日　一般選抜前期 B日程
2月3日　学部）秋学期定期試験（～17）
　　大学院）秋学期代替授業日（土曜日分）
　　（～5）

学会等開催〔予告〕

11月20日　自閉症特別講座（Web視聴）
　　川崎医療福祉学会研究集会
11月27日　自閉症特別講座（Web視聴）
12月4日　自閉症特別講座（Web視聴）
12月18日　自閉症特別講座（Web視聴）
1月15日　自閉症特別講座（Web視聴）
1月22日　自閉症特別講座（Web視聴）
2月5日　自閉症特別講座（Web視聴）
2月8日　自閉症特別講座（Web視聴）

新任教員の紹介

理学療法学科
教授
中西（なかにし）　一夫（かずお）

コロナ禍にも負けず

この度、リハビリテーション学部　理学療法学科の教授を拝命いたしました。このような状況下においても、楽しんで学生生活を送ってもらい、卒業した時に社会の一員として協調性豊かで、誠実で、品性のある人間（ひと）に育ってもらうべく努力する所存です。

臨床検査学科
特任講師
岡本（おかもと）　年生（としお）

ご挨拶

このたび臨床検査学科の特任講師として着任しました。臨床検査は領域が多岐にわたり勉強が大変ですが、結果から病気を推測、確定できる面白い学問です。附属病院での経験を活かし微力ながら学生にその魅力を伝えたいと思います。よろしくお願いします。

医療福祉デザイン学科
助教
山形（やまがた）　千星子（ちほこ）

ご挨拶

このたび、医療福祉デザイン学科の助教として着任いたしました。本学を修了し、イラストレーター及びデザイナーとして活動してきましたが再びご縁があり、戻ってまいりました。学生に卒業してからも役立つ知識や技術を多く伝えられるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

図書館だより

秋も深まり、勉学・読書に最適の季節です。みなさん、図書館を有効に利用してくださっていますか？

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館ではソーシャルディスタンスを保った状態での利用、利用後は閲覧席・マウスなどの消毒をお願いしています。引き続きご協力をお願いします。

図書館企画の一つ、「図書館ベストリーダー賞」は図書館蔵書を積極的に利用した学部学生を表彰するもので、対象期間は図書の貸出返却利用が可能となった5/25～12月末までです。選出までまだ間に合いますので、勉学に必要な図書や興味ある図書を大いに借りて利用してください。図書館を利用したことがない方も、ぜひこの機会においでください。

新型コロナウイルス感染拡大防止による図書館の利用方法の変更、自宅から利用できるサービス案内などをポータルサイトへ掲示していましたが、ご覧いただけましたか？

eBookの閲覧は、予め学内から設定を行うことにより、臨時ではなく通常から学外利用が可能です。eBookの利用方法、リモートアクセスの設定方法は、図書館ホームページで案内しています。この機会にぜひ利用してみてください。ご不明な点は遠慮なく、図書館へお尋ねください。

新型コロナウイルス感染拡大状況により、図書館の利用方法の変更や新たに提供できるサービスの情報がありましたら、引き続きポータルサイトよりご案内します。

勉学の秋、図書館を有効活用し、知識を深めてみてはいかがですか。

川崎医療福祉大学　〒701-0193 岡山県倉敷市松島288　TEL.086-462-1111㈹　URL https://w.kawasaki-m.ac.jp/